

在宅酸素療法(HOT)について

▶HOT(Home Dxygen Therapy)とは 在宅酸素療法のことで、自宅に酸素供給機を設置し、必要時あるいは24時間、酸素吸入をする治療のことです。
慢性呼吸不全や慢性心不全の方の、生命予後の改善に役立っています。
また、家庭での酸素投与や携帯用酸素ボンベの利用により、在宅療法や社会復帰を可能にしています。
費用については、健康保険が適用されます。今やHOT外来は総合病院だけでなく、クリニックにおいてもおこなわれている時代です。

▶在宅酸素療法(HOT)が必要となるのは 慢性気管支炎や肺気腫などCOPD(慢性閉塞性肺疾患)や肺線維症、肺結核後遺症等が重症化して起こる慢性呼吸不全の患者さんや重症な慢性心不全の患者さんです。
当医院でも、HOTの管理・指導を行っています。上記疾患の方に対し、保険適用のもとでHOTの機械を貸し出し、定期的に診療を行っています。

▶在宅酸素療法(HOT)の機械について



▶在宅酸素療法(HOT)治療のながれ

【1】診 察

動脈血ガス分析、パルスオキシメータ測定などにより、医師が診察・評価して、適用を決定。患者さんご家族に病状、在宅酸素療法の必要性和効果などについて説明します。



【2】処方・トレーニング

検査期間中、医師の指導のもと、酸素吸入を行い、吸入に慣れるようにします。酸素吸入量・時間を決定し、機器の取り扱い、生活指導、緊急時の対応等をトレーニングします。



【3】機器の設置

在宅酸素療法を開始する日時を決めて、当医院と連携しているHOT機器メーカー(テイジン・ガステックなど数社)へ連絡し、前日までに機器をご自宅へ設置します。
この時にメーカーの当医院担当者から機械の説明を受けていただきます。



【4】月1回の定期的な指導

1ヶ月に1回以上、HOT機器の使用状況、日常生活状況、酸素飽和度や呼吸の状態について、医師の診察(通院・往診)を受けます。

